

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	燃焼排ガス汚染の特徴と対策小委員会	主 査 名：野崎 淳夫 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：村上 公哉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・燃焼排ガス汚染を引き起こす発生源について、汚染物質、発生量、発生特性などについての体系的な情報収集 ・空気汚染の特性や汚染防止対策に関する分かりやすい書籍の刊行	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：野崎 淳夫 幹事：東 賢一 委員：池田 耕一、大澤 元毅、鍵 直樹、篠原 直秀、関根 嘉香、成田 泰章、二科 妃里、長谷川 麻子、水越 厚史、柳 宇	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 出版に結びつく燃焼排ガス関連の情報収集作業を完了させた。 2. 発生源毎に生成ガスの種別とその発生量・発生特性を調査した。また、汚染防止に必要な対策法を詳しく述べる内容に目次案を作成した。 3. 特に、現行の工学的な規制基準と照らし合わせ、室内濃度レベルと個人暴露量との関係に関わる検討作業を行った。 4. 作業を基に目次と執筆者を決定した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員の出席状況はよく、特に問題はない。 2. 執筆期間が短いため、委員の先生方と協力し、効率よく、執筆・査読を進めることが課題である。

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	燃焼排ガス汚染を引き起こす発生源について、汚染物質、発生量、発生特性などについての体系的な情報収集を行い、これらを分かりやすい書籍にまとめ上げるため、目次案を作成した。 具体的には、燃焼排ガスに関する情報収集を行い、新たな知見を加えた目次を編成し、建築的な視点に基づき、添付の目次案を参考に執筆者の選定作業等を行った。また、関連する法規や燃焼器具の選定、設計方法などを目次を含めた。さらに、燃焼器具使用時における室内環境への影響、健康的影響などを項目毎に整理した。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。